



第32号

2024 (令和6) 年
3月31日発行発行所
京都市下京区堀川通花屋町下ル
仏教壮年会連盟広報委員会

題字：理事長 種村美樹

「朋友」とは、同信のなから。
2008 (平成20) 年4月の仏教
壮年会連盟発足にあたり、
仏教会員が力を合わせ、とも
に歩みを進めていこうという
願いから名づけられました。

「花は見れぬ」ども、いま種を蒔く



仏教壮年会連盟新任講師 熊本教区

大松 龍 昭
おまつ りゅう しょう

昨年より仏教壮年会連盟講師をお受けいたしました。思いもよらぬことで至らぬ我が身に恥じ入るばかりですが、会員の皆様の熱意を感じながら子育てをいただいております。

私のお寺の仏教壮年会にAさんという方がおられます。8年前の熊本地震の時でした。私のお寺も多少の被害がありましたので、境内の再整備が必要となり、造園業をなさっているAさんに樹木の伐採をお願いしました。それが縁となってその後剪定などを定期的にお問い合わせすること

となったのですが、何度申しあげてもAさんは費用の請求をなさいません。ただ「じいさんがお世話になりましたけん」と、いつもそうおっしゃるだけです。

Aさんの祖父は、何の縁あつてか僧侶になりたいとの思いを持たれました。ただ、僧侶になるためにはお寺に所属する形を取らねばなりません。今となつては確認はできませんが、Aさんがおっしゃるには近隣のお寺には受け入れてもらえなかったと。それで、これまでどのような縁

2023 (令和5) 年度
第5連区仏教壮年会セミナーでの講義の様子

があつてか、はるばる私のお寺を訪ねてこれられ、そしてうちに所属されて得度式を受けて僧侶になり、その後は実家を布教所として教化を続けられたお方でした。このような経緯があつてAさんの実家は私のお寺のご門徒となられたわけです。そしてそのようなAさんのお姿を見て、私が仏教壮年会へお誘いをしたところ、入会されただけでなく、遠方にも関わらず年間の法座のほとんどに足を運ばれています。

何を申しあげたいかと言いますと、Aさんを仏教壮年会にお誘いしたのは確かに私です。しかし、Aさ

んの祖父が、また当寺の三代前の住職が蒔いた仏縁の種が、孫のAさんの中にいま花となり実が結ばれているだけで、私は何もしてはいないのです。

仏縁を広めるための活動に際しては、先送りできない喫緊の課題が色々あります。しかしその一方で、私の寿命を超えた長いスタンスの中で捉えておく必要があるのではないのでしょうか。なぜなら、お念仏の道とは「死んだら終わる」のではなく、命終えて仏と成り、そして縁ある者の合わせる両手となつて、口元にこぼれるお念仏となつてはたらし続けていくものだからです。

したがって、仏教壮年会における活動においても、その具体的な成果はこの私の目では確認できないものが多いと思います。でも、それで良いではありませんか。かりにこの私になにがしかの種が蒔けたとして、「それが次世代の人たちの中で仏縁となつて花を咲かせ実を結ぶのは、私の寿命が尽きた後なのだ」という覚悟を持ちながら、いま為すべきことをなし、いま確かな足跡を残すことができればと思います。

組で仏壮活動を！

組織拡充委員会活動報告

仏教壮年会連盟
組織拡充委員会

仏教壮年会連盟では、2008年の連盟化以降、重点目標の一つに『組連盟』の全組結成をめざすことを掲げ、取り組んできました。2020年度から2022年度の組織拡充委員会では、組連盟の結成状況と組での仏壮活動現況を調査し、組での仏壮活動を推奨しました。その取り組みを報告いたします。

「組連盟」とは？
なぜ「組連盟」結成をめざすのか？

組連盟は、組内の寺院仏壮が集まった連盟ではありますが、お寺に仏教壮年会がない個人でも入ることがで



きます。

① 組連盟を結成することで、朋友の輪を拡げたい。

② 組で活動し、みんなの力を合わせることによって活動を活性化したい。そして、新たな寺院仏壮の設立に繋げてほしい。

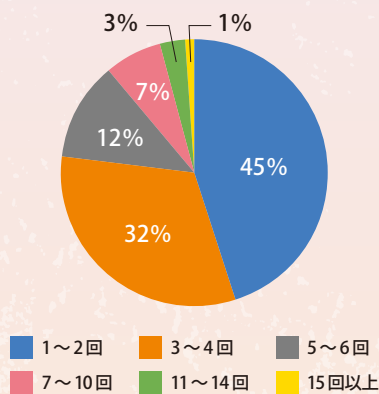
これらのことから、仏教壮年会連盟では、組連盟の全組結成をめざしています。

アンケートについて

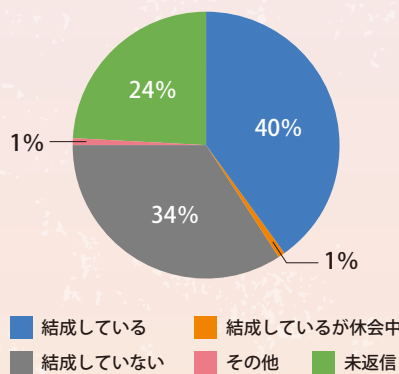
2021年の夏、組織拡充委員会では、現状把握のために、全組長を対象にアンケートを行い、組連盟結成状況と、組での活動状況について尋ねました。

その結果は次の通りです。

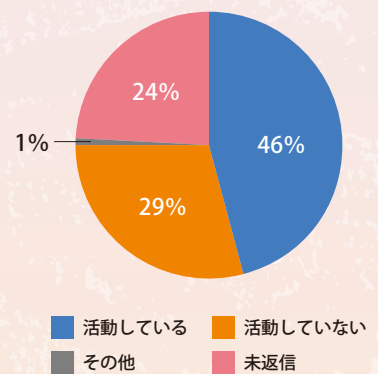
問3 年に何回活動をしていますか？
(回数記入組のみ集計)



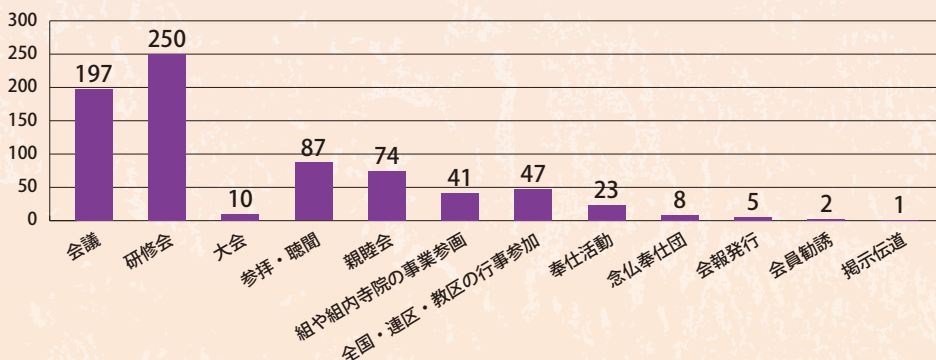
問2 組連盟は結成していますか？



問1 貴組で仏壮活動をされていますか？



組で行われている仏教壮年会活動



- ◆「参拝・聴聞」のうち、54%が聴聞を主とする会。約20%が教区内・組内寺院参拝
- ◆「奉仕活動」は、寺院での活動の他、地域での清掃や施設に対するボランティア活動、被災地支援等
- ◆「親睦会」のうち、レクリエーション活動としては「グラウンドゴルフ」が最多
- ◆各行事の開催方法としては、他団体との合同開催が25件、他組との合同開催が15件、連研が5件

組連盟を結成し、組で活動している組からは「総会に併せて研修会を開催している」「行事に併せて懇親会を開催している」「組内で活動をしている寺院仏壮が少ないため、組連盟を結成し、新たな寺院仏壮の結成、もしくは解散した寺院仏壮の再結成をめざし研修会を実施している」などの回答が複数ありました。

また、「未結成寺院からも壮年の出席を呼びかけるため、総会とせず、組仏壮大会を開催している」との工夫の他、「単位仏壮が結成できなくなり、研修会も仏婦・門徒総代との合同研修になるように進めている」といった回答もありました。

仏壮活動をしていない組からは「広域組であるため、組全体で仏壮活動を行うことが難しい（広域組での成功事例を教えてほしい）」「以前は組連盟もあり活動していたが、総代会等の教化団体と構成部員が一緒になり、仏壮の活動が休止、または退会した」との趣旨の回答が複数あり、地域差の他、過疎化、高齢化に伴う人口減少などの仏壮を取り巻く環境の変化も伺えます。

その他、「組連研（組連統研修会）が仏壮活動につながった」「組連研が中止となったことで仏壮の交流が

少なくなった」等の回答もあり、門信徒会運動から始まった仏壮と連研、互いに活性化することの重要性が改めて確認されました。

なお、「アンケートの集計結果を教えてほしい」との要望があったため、2022年4月に、集計結果を全組長と各教区に送り、同年10月には、各教区に組連盟登録についてのはたらきかけをお願いしました。

※アンケートにおける活動事例の詳細を知りたい方は、所属の教務所にお問い合わせください。

最後に

仏教壮年会連盟では、「仏教壮年会は、朋友が共に語り合い、聴聞し、活動することのできる大切な居場所。寺院を取り巻く環境が変化する中、その居場所を維持していくこと、そして、朋友の輪を拡げていくことが最大の課題」ということを共通認識として、様々な取り組みを進めています。

仏壮活動活性化のために、組で仏壮活動を行いましょう。そして、組連盟を結成していない組は、ぜひ組連盟を結成しましょう。

〔山陰教区〕 出雲組仏教壮年会連盟 活動報告

組織拡充委員会委員 武田 英教

出雲組は出雲市の一部と雲南市の一部の寺院で構成されています。

出雲組仏教壮年会連盟では、総会・懇親会、研修大会、親睦ゴルフコンペなどの活動をしています。

出雲組仏教壮年会連盟 第20回親睦ゴルフコンペ

毎年恒例となっている親睦ゴルフコンペを2023年10月11日、島根県出雲市の「出雲空港カントリー」



において開催しました。20回目となる今回は、山陰教区の長をお招きし、当日夜には表彰式・懇親会も開催、朋友との語らいを深めました。

出雲組仏教壮年会連盟 第46回研修大会

第46回研修大会（2022年度事業）を、2023年2月12日に島根県雲南市加茂町の加茂文化ホール「ラメール」に於いて開催しました。

今回は、実践運動の学習を深めるため、NPO法人フードバンクしほねあつたか元気便事務局長 大木理之師より、フードバンク活動の取り組みから見てくる現状について学



び、出雲組実践運動委員長 柳樂由乗師（龍善寺）より実践運動「重点プロジェクト」の取り組み状況についてご講義いただきました。

活動事例募集について

組での仏壮活動の様子を、仏教壮年会連盟ホームページにてご紹介いたしたく、活動レポートを募集いたします。字数や、写真の枚数は問いません。送りは、4ページ欄外（下部分）をご参照ください。

令和5年度 仏教壮年会連盟

中央研修会を終えて



仏教壮年会連盟

研修委員会委員長

夏目 健之助

2024 (令和6) 年2月10日 (土) から1泊2日の日程で、令和5年度 仏教壮年会連盟中央研修会を本山・伝道本部にて開催しました。ここ3年間は新型コロナウイルスの影響によりオンラインで開催していましたが、4年ぶりに本山での対面による研修会となりました。

連盟化16年目を迎えた今回は、仏教壮年としてのあるべき姿をいま一度見つめ直そうと、テーマを「仏教壮年会の活動とは〜いま一度、仏教壮年会連盟綱領に学ぶ〜」としました。北は北海道、南は熊本まで34名の仏教壮年が集まり、終始なごやかな雰囲気での研修が進みました。

初日は、12時からの開会式の後、谷間徹誠連盟講師よりご法話・問題提起をいただき、テーマ



谷間連盟講師による
法話・問題提起の様子



班別話し合いの様子

について、6班に分かれて約2時間の話し合い法座をしました。班別発表の後、聞法会館に移動し、「お西さんの土曜法話」(講師：小林 顯英師)を聴聞しました(希望者のみ)。夕食懇親会では、互いの近況を語り合い、親睦を深めました。

2日目は、午前6時からのお昼朝に参拝、5名が帰敬式を受けられました。9時から、帰敬式を受けた方に谷間講師から法名が渡され、法名の意義について説明をしていただきました。

その後、研修委員会の宇山副委

員長、陣内委員、鬼塚委員より、教区や組での仏壮活動の事例を報告していただきました。事例報告への質疑応答の後は、研修全体を通して全体会を行い、それを受けて、大松龍昭連盟講師よりまとめのお話をいただき、研修を終了しました。

仏教壮年の原点は、ひとえにお聴聞を重ねることであり、法話の聴聞を通して、み教えを聞かせていただく中で、気づかせていただくというところにあると思います。

今回の班別話し合いでは、対面でのやり取りの中で、会員の高齢化などの教区・組・寺院仏壮の共通の問題点や、お寺の住職との関わり方等についての意見がたくさん出て、良い話し合いになったと思います。ただ、今回のテーマである「綱領に学ぶ」というところまで深めることができず、物足りない班別話し合いになってしまったようにも思います。大松先生がまとめのお話でカバーしてくださいました。

参加者の方々からは、今回研修会に参加してよかったという意見もいただきました。何より、対面での和やかな雰囲気の中で、朋友の輪を広げ、各教区での活動事例

やお互いの情報交換ができたことが良かったと感じました。何か一つでも、思いを持ち帰っていただくことが出来たのではないかと思います。

研修委員会ではこれから、来年度の開催に向けて準備をしていきます。来年度も充実した内容にしたいと思いますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。

浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金

「令和6年能登半島地震 災害義援金募集について」

受付口座番号

郵便振替
010000469957

加入者名
たすけあい募金

銀行振込
銀行 ゆうちょ銀行

店名 一〇九イセロキョウ店

番号 当座 0069957

名義
たすけあい募金

※通信欄に「能登地震」と記入してください。

住所、連絡先、領収書名の記入をお願いします。



▲詳細はこちらをご覧ください

本年度新規単位登録名簿

2023 (令和5) 年10月1日
2024 (令和6) 年3月31日

教区組名	寺院	単位会名
新潟 与板		与板組仏教壮年会

登録単位数 2,404単位

